

今、お母さん方が中心になり、育児サークルが活発に活動しています。また、サークルに参加したことのない方も、各地区で集まる機会が是非欲しいとの要望が八割もありました。そこで、育児に一人で悩まず、

その中でも圧倒的な意見として、せっかく公園があっても小さい子どもが遊ぶには、環境設備の面で利用しにくいと言う声が多く出されてきました。気持ちよく遊べる場になるよう、皆で考えていかなければならない課題ではないでしょうか。

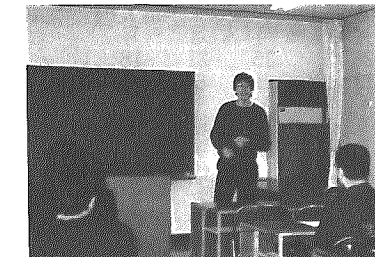
普段は、家の中や庭・公園で遊ぶことが多いようですが、地域によっては、公園が整備されていないために道路や駐車場で遊ぶしかないという声もありました。また、自分達が使う公園だからと言うことで、定期的に掃除・草取りをしていても、すぐに紙クズ、ガラス片、犬のフン等で汚れてしまい残念だと言う声もあります。

「楽しい育児は皆のちからで、子ども達の遊び」アンケート結果から、

「楽しい育児は皆のちからで、子ども達の遊び」アンケート結果から、



**英会話講座を開催**  
LET'S ENJOY ENGLISH!!  
中央公民館では、英会話短期集中講座を始めました。  
第1回目の1月16日には、初級編2クラスと中級編1クラスの計3クラスに計35名が出席。  
講師のクロード先生との会話を、楽しんでいました。



クロード先生の講座

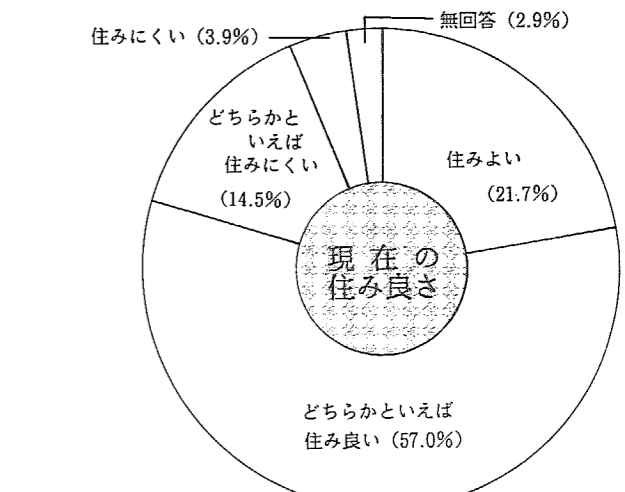
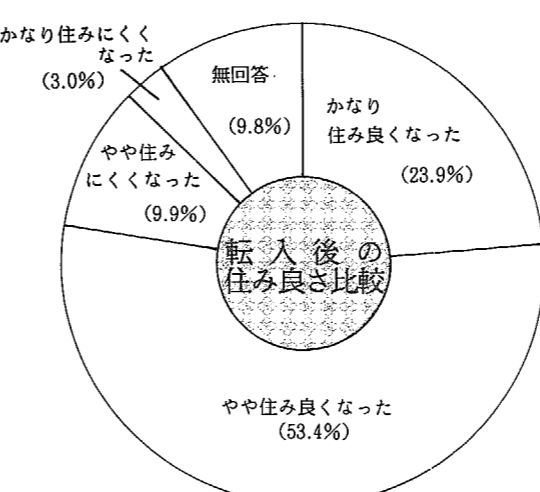


小麦粉をこねる作業

**手づくりうんとで 年忘れ**

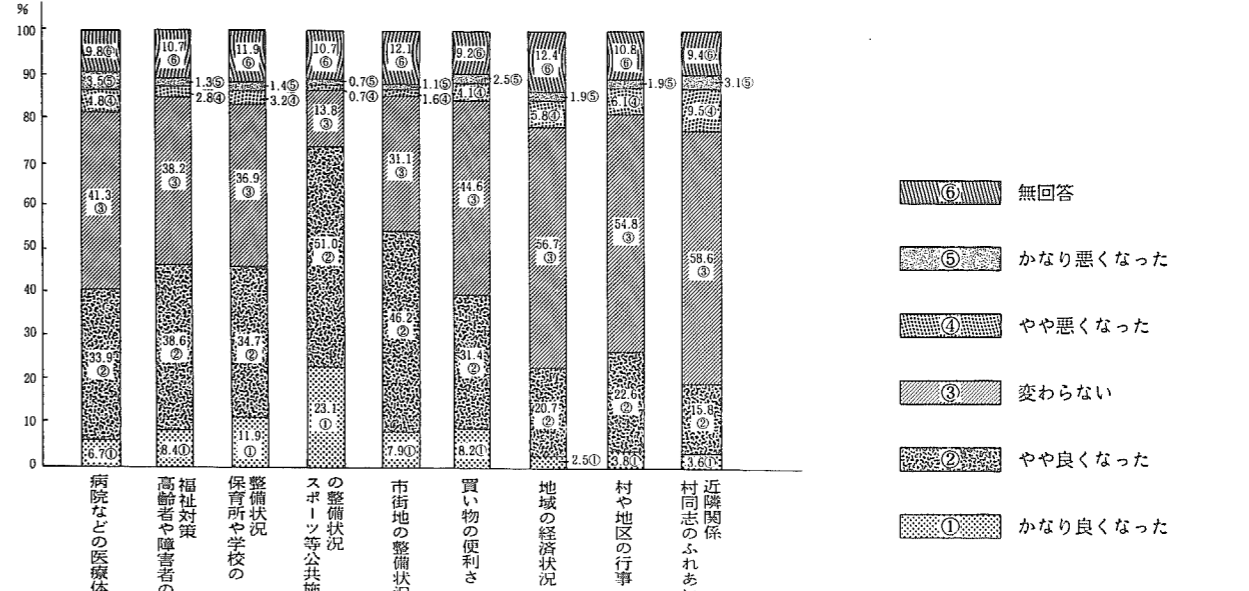
十二月二十六日、中央公民館で「チビッ子うんとづくりの集い」が開催されました。  
一才半から小学校高学年までの元気な子供たちが、本格的な手打ちうどんに挑戦。どの子どもも全身を使ってのうどんづくりに、目を生き生きと輝かせながら取り組んでいました。  
その後、お母さんたちが腕を振った特製スープで自分たちの作ったうどんを試食。子供たちが思い思いの太さに切ったものだけに「ちよっと形が悪いね」などといながらも、みんなたくさんおかわりをしていました。  
参加した保護者たちからは、「家では汚れるのが気になってなかなかさせてあげられないが、粘土をこねるようになって自分の食べるものを作ったことでも満足したようです」  
「このような会を通して地域の子供たちの交流が深まればとてもいいですね」  
などの感想が聞かれました。

# 町制施行に関する 住民意識調査結果 (その3)



10年ほど前または転入後と現在の「住み良さ」の比較については、半数以上の53.4%が「やや住み良くなった」と回答し、また23.9%の人が「かなり住み良くなった」と回答するなど、全体の7割以上が住み良くなったとしています。一方、10年前に比べ「住みにくくなった」とする回答は、「やや住みにくくなった」が9.9%、「かなり住みにくくなった」が3.0%であり、マイナス評価は全体の1割強と少数でありました。

現在の住み良さについては、半数以上の57.0%が「どちらかといえば住みよい」と回答し、「住みよい」(21.7%)も含めるとプラスの評価は全体の約8割にのぼり、「どちらかといえば住みにくい」(14.5%)、「住みにくい」(3.9%)を合わせたマイナス評価(2割)を大幅に上回りました。



住んでいる地域のここ10年間の生活環境、生活利便、コミュニティの変化について、5段階評価を行い、加重平均を算出したところ評価が高かったのは、「スポーツ等公共施設の整備状況」「市街地の整備状況」などでした。一方、「村同志のふれあい・近隣関係」についてがマイナスの評価でした。